

安全

全従業員一人ひとりが
安全・安心のサービスを心掛けています。

安全スローガン 『安全第一 “Safety First”』

全従業員、協力会社が一体となった安全活動の推進を図る。そのために管理監督者は「安全は日常の基本業務であること」を常に認識し、強い決意をもって日々改善する。



お客様に安全・安心をお届けするために

運輸安全マネジメント*

日立物流グループは、協力会社と一体となった安全管理体制を構築することで日々の安全運転を推進し、輸送の安全を図っています。

※運輸安全マネジメント制度(国土交通省)
安全管理体制を構築・改善することにより、輸送の安全性を向上させることを目的とした制度

運輸安全マネジメント

<http://www.hitachi-transportssystem.com/jp/profile/csr/safety/#section3>

日立物流グループ安全朝礼

日立物流グループでは、過去に起きた痛ましい事故の再発を防止するために、2019年度から4月と10月に、全ての事業所において「安全朝礼」を実施することとしています。



トップセミナー

日立物流グループにとって協力会社は重要なパートナーです。グループ各社で半年に1回、協力会社の代表も参加するトップセミナーを開催し、相互の情報共有を図っています。



パンテックグループトップセミナー



東日本地区トップセミナー



中部地区トップセミナー



九州地区トップセミナー

ドライブレコーダー導入済みフォークリフト



約1,900台

(2019年3月末現在)

現場力強化(スマートロジスティクス発表会)

各事業所における「現場力強化」に関する具体的な取り組み事例等を発表・紹介し、安全作業の好事例の共有と横展開を図ることで、日立物流グループ全体のさらなる現場力強化に取り組んでいます。2018年度は海外グループ代表として、武漢万友通物流有限公司が、お客様からの信頼度を上げるため、安全品質の取り組みについて発表しました。



武漢万友通物流有限公司による発表



発表会の様子

安全テクノロジーの導入

●フォークリフトへのドライブレコーダー装着

日立物流グループでは、国内で保有しているトラック全てにドライブレコーダーを取り付けていますが、フォークリフトにもドライブレコーダーを取り付け(2019年3月末現在: 約1,900台)、操作時の指差呼称の確認等、日頃の安全活動に活用しています。さらに、海外グループ会社にも展開を図っています。



トラック用のドライブレコーダー



フォークリフト用のドライブレコーダー

●バックモニター

現在、協力会社を含め約3,900台の車両にバックモニターを装着し、目視とモニターの二重による周囲の安全確認に活用しています。



安全知識と技能の向上

社外競技会への出場

日立物流グループでは、専門知識の習得、運転技能および点検技術の向上、交通安全に対する意識・知識の向上を図ることを目的に、毎年「全国トラックドライバー・コンテスト^{*1}」「全国フォークリフト運転競技大会^{*2}」に出場しています。

2018年度も、全国各都道府県の予選を勝ち抜いた選手達が出場し、優秀な成績を収めました。

これらの活動を通じて、ドライバーのみならず全従業員の安全意識の高揚と事故防止に努めています。

● 第50回 全国トラックドライバー・コンテスト

11トン、女性部門の2部門で優勝

学科競技と実科競技（点検・運転技能）の総合点で競う当大会には、グループ各社から14名の選手が出場しました。11トン部門と女性部門の優勝者2名のほか、4トン部門でも3位と4位に入賞し、トレーラ部門においても3位入賞を果たすなど、全部門での入賞者輩出という輝かしい結果を残しました。



安倍首相からのトロフィー授与
(左)11トン部門優勝者 (右)女性部門優勝者

実技の様子

● 第33回 全国フォークリフト運転競技大会

学科・点検・運転の3競技の総合得点で競う当大会にはグループ各社から13名の選手が出場し、1名が準優勝に輝きました。



準優勝者

点検の様子

※1 全国トラックドライバー・コンテスト
公益社団法人全日本トラック協会が主催し、プロトラックドライバー日本一を競う。

※2 全国フォークリフト運転競技大会
陸上貨物運送事業労働災害防止協会が主催する大会であり、安全の確立と実効性ある労働災害防止の推進を目的としている。

安全教育(実技訓練・体感教育)

日立物流グループでは、職場でのさまざまなシチュエーションを想定した実技訓練と体感教育を中心に、現場指導を実施しています。



カッターの安全実技訓練

台車の体感教育

新入社員への安全教育

日立物流グループでは、新入社員受け入れ時に安全知識を身につけるため、座学と実技教育による指導を行っています。

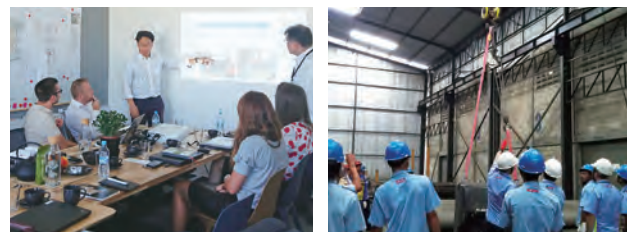


手押し台車の取り扱い教育

フォークリフト点検教育

重量機工作業の実務教育と指導

鉄道車両・発電プラント・産業機械などの大型品および理化学機器、医療機器等の精密機器を安全に輸送・搬入・据付するためには、綿密な計画を立て、それを確実に現場で実践することが不可欠です。計画内容を精査して現場指導を行い、安全作業に努めています。



事前検討会(ポーランド)

教育風景(インドネシア)

啓発活動

わかりやすいイラストを活用したカレンダーを職場内に掲示し、従業員に対して啓発・注意喚起を行っています。



安全啓発カレンダー

教育用ビデオ作成・教育指導

安全な作業を実施できるよう社内教育用ビデオ(映像)を作成し、全従業員に対し、教育指導を行っています。



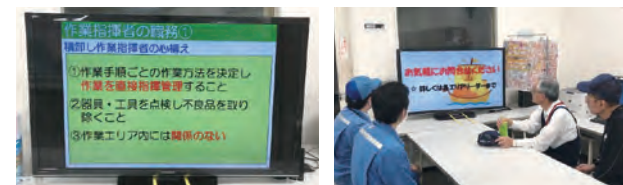
社内教育用ビデオの画面例



台車運搬方法の説明画面
①押し ②引き ③よこ押し

デジタルサイネージ

物流現場の各所にデジタルサイネージを設置し、事故の内容・原因・対策を映像で繰り返し伝えることで、全従業員の安全意識の向上を図っています。



グローバルセーフティ活動

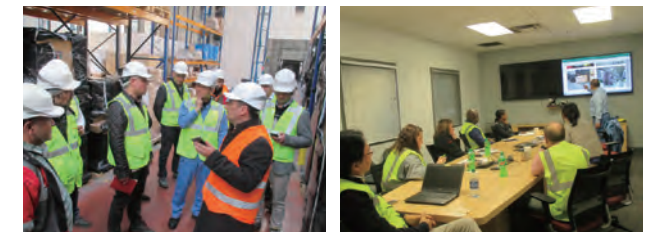
安全管理のグローバル展開

国内同様の手法で安全活動を展開し安全管理意識の向上を図るため、海外においても日本人指導員によるセーフティキャラバンを派遣し、現地スタッフと一体となった改善活動などを行っています。課題については現場で改善を図り、安全についても継続的なフォローを行っています。



ドライバー教育(タイ)

倉庫スタッフ教育(台湾)



安全現場巡視(トルコ)

巡視後報告会(アメリカ)

海外セーフティキャラバン(安全指導員派遣含む)
実施拠点数: 13(2018年度)

海外での社内フォークリフト大会

海外の日立物流グループでは、2013年度より現地従業員を対象としたフォークリフト大会を開催しています。大会の開催にあたっては、日本から指導員を派遣し、日立物流の安全文化をグローバルに広げ、安全技術の向上をめざすとともに、現地従業員同士の切磋琢磨を通じた、個々人の成長意欲の醸成につなげています。



日立物流(中国)有限公司
フォークリフト大会 優勝者

日立物流(中国)有限公司
フォークリフト大会参加者